

北海道

とから帯広市で

酪農ヘルパーになりませんか

酪農ヘルパー募集案内

有限責任事業組合

帯広畜産センター

Obihiro Animal Husbandry Center

酪農ヘルパーとは？

酪農ヘルパーは、「酪農家さんが休日を確保できるように、代わりに牛の世話をする仕事」です

酪農家の仕事は、毎日搾乳しなければならない乳牛が相手だけに、365 日一日も世話をかかすことができません。酪農ヘルパーという職業ができたのは、そんな酪農家の方々にも、必要な時に休みを取ってもらえるようにとの理由からです

酪農ヘルパーの仕事とはつまり、高度な酪農の知識・技術を身につけた上で農場の留守を預かり、問題なく酪農家さんに引き継ぐことを目的とします

もちろん基礎となる酪農の専門的な技術も必要ですが、未経験でも一から丁寧に指導しますので、安心してください。



酪農のしごと

酪農と聞いてどのようなイメージを思い浮かべるでしょうか、広大な大自然の中で牛がのんびり過ごしている様子だったり、またはハイテクなロボット搾乳機によって次々と牛乳が絞られている様子をテレビなどで見た事があるかもしれません

酪農とひとくちに言ってもその形態は様々です。牧場の経営者がそれぞれのこだわりを持って牛を飼い、働きやすさを追求するのよし、牛乳の美味しさを極めるのよし、決まったやり方などありません

ただし、酪農という仕事は土づくりからとも言われるように、畑で良い餌を作る技術から始まり、牛が病気にならない技術、うまく繁殖させる技術、はたまた設備の補修なども自分でやらなければならない事もあり、膨大な知識や経験が基盤にあってはじめて経営が回っているという難しさもあるのです

ヘルパーは地域の様々な酪農家さんの元へ行き、その家のやり方を覚えてこなすのが仕事ですので、酪農について知識や経験を積むのに都合の良い仕事とも言えます。帯広畜産センターにも今までに酪農家の後継者も多く在籍し、ヘルパーとして経験を積んだのち実家へ戻って行きました

将来、酪農家を志す方の第一歩としても、ぜひ



🐶 どうなところ？

十勝は畑作や酪農などの農業が盛んな土地で、帯広市も市街地の南に広大な農地が広がっており、ヘルパーの派遣先である酪農家も点在しています

帯広畜産センターの事務所はちょうど市街地と農業地帯の境あたりにあり、そこから専用車両で出発して派遣先へはおおよそ5～20分かかります

ヘルパーとして採用されれば事務所近辺の住居、または専用住宅「酪愛館」に暮らす事になりますが、車で北に5分ほど走ればもう帯広市街です。ショッピングセンターもあり、買い物には困りません

地元で有名なお菓子のお店や、もちろん帯広名物豚丼のお店も沢山あります、でも食べ過ぎには注意しましょうね

晴れの目が多いと言われる帯広ですが、冬も北海道の他の地域と比較すると雪は少ない方なので過ごしやすいかもかもしれません

仕事についてはもちろん、暮らしについてでも何か気になる点があれば気軽にご相談ください





給餌

1日に 3~40 リットルもの牛乳を出す牛
そのためには沢山のご飯を食べなければ!!
1日3食とは限らない!!

牛舎管理

おうちが汚いと牛も病気に
なったり怪我をしちゃう
牛のベッドはおがくずや麦わら

ヘルパーの作業風景

大きく4つに分けられるヘルパーの仕事内容を紹介します

搾乳

牛乳を搾ります
これがヘルパーの一番大事な仕事です
ところがこれが難しいのです

哺乳

産まれたばかりの仔牛には
やっぱり母牛の牛乳がご飯なのです
2リットルくらいあっという間にゴクリ

酪農ヘルパー事業推進委員長

荒川 満雄

酪農ヘルパー事業推進副委員長

勝見 剛博

帯広畜産センター所長

鈴木 幸弘

酪農ヘルパー事業事務局

工藤 祐輝

事業内容

酪農ヘルパー事業

乳牛検定事業

生乳検査事業

事業所所在地

北海道帯広市川西町基線57番地3

職員数

18名

雇用条件

① 雇用形態	正職員
② 賃金	月給制 (本俸、超勤手当【月7時間分のみなし残業代】、住宅手当、特務手当)
③ 各種手当	通勤手当、家族手当、その他
④ 賞与	年3回 夏季手当、年末手当、期末手当
⑤ 昇給	年1回 (実績に応じて)
⑥ 退職金制度	勤続1年以上 (退職給与規定に準ずる)
⑦ 被服費	年2回支給 (15,000円/1回)
⑧ 車両保険助成	年1回 (20,000円)
⑨ 加入保険等	健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、傷害共済
⑩ 休日	シフト制 (年間休日数99日)

※ 各種資格取得に対して助成制度あり

※ 詳細は当組合ホームページに掲載しております <http://www.obihiro-tikusan.com>

イイネ!



酪農ヘルパー専用住宅「酪愛館」

ご希望の方は、事務所より車で2分の所にある専用住宅「酪愛館」を一般よりもお得な家賃で借りることができます

間取りは 1LDK で風呂、トイレはもちろん完備、各部屋専用の屋外物置もあります。IH クッキングヒーターや夜間電力による給湯とオール電化の設備となっており、ガスを使用しないので一人暮らしでもより安心です



蓄熱暖房で冬は暖か、クーラー付きで夏も快適な住宅です。24時間営業のコンビニも隣接しており、いざという時にはとても便利です

住宅についての詳細はもちろんのこと、帯広での暮らしについてなど不安な点がございましたらどうぞお気軽にお問い合わせ下さい



WebサイトURL

<http://www.obihiro-tikusan.com>



帯広畜産センター



電話番号

0155-59-2974 (お問合せ受付時間
平日9時~18時)



FAX番号

0155-59-2274

有限責任事業組合

帯広畜産センター

〒089-1182 北海道帯広市川西町基線57-3

